

提出された意見の概要とそれに対する市の考え方

案 件 名：あきる野市子ども・子育て支援総合計画（案）

募 集 期 間：令和2年1月15日（水）～令和2年2月4日（火）

意見等提出件数：3件（提出者1名）

あきる野市子ども・子育て支援総合計画（案）に対する意見募集にご意見ありがとうございました。

以下のとおり、ご意見の概要と市の考え方について、ご紹介させていただきます。

項 目	意見の概要	市の考え方
子ども食堂推進事業について (P44)	現在、市内で活動している団体に関しては、子どもへの支援の充実という面よりも、さらに広く、地域でつながり支え合うという面もあるので、子どもへの支援という位置づけで良いのかという懸念があります。市として団体に補助するに当たって、条件等を設定する際は、実態に合った柔軟な対応をお願いしたい。	本事業につきましては、子ども食堂を利用する子どもやその保護者の生活実態を把握し、必要に応じて支援につなげていくことを主眼としていることから、基本目標1の取組として位置付けております。 一方、ご指摘のとおり、地域でつながり支え合うという面も重要であるとの認識のもと、団体等に対する補助に当たりましては、子どもに限らず、幅広い世代を対象に実施している団体等に対しましても補助しております。今後も引き続き、地域でつながり支え合うという面も踏まえながら団体等を支援してまいります。
子どもの学習支援事業について (P44)	子どもの学習支援事業の内容が子どもにとって必要な、実態に合ったものになっていないという話を聞きました。個々の児童のつまずきや苦手のサポートという意識を持って、特に苦手意識を持った子どもにとって何が大切なのかを考慮した支援をしていただきたい。また、対象学年については、小学校高学年からではなく、低学年、中学年の子どもにもつまずきやハードルが存在しますので、幅広い学年の子どもに対応していただきたい。	本事業につきましては、授業を実施する指導者のほか、個々の子どもたちのつまずきをサポートする学習サポーターを配置し、実施しております。ご意見にありますように、その子にとって何が大切なのかを考慮した支援は重要であると考えますので、今後も子どもたちに寄り添った支援を心がけて事業を進めてまいりたいと考えております。 対象学年の拡大に関するご意見につきましては、計画を進めていく上で、参考とさせていただきます。

<p>基本目標 3 の方向性に記載されている「市民の活動等をサポートする」について (P 5 3)</p>	<p>市内には、専門的な知識や子どもを育てることに対する情熱などを持ち、とても良い活動をしている団体がいくつもある。行政として、上から下ではなく、互いに手を取り合い、協力・サポートするという視点を持って、子どもや子育て家庭を支援する力を発揮していただきたい。また、公民館で「市民企画講座」などを企画する際、保育室（託児）があると子育て中の家族の方が参加しやすくなるのですが、現状として、場所はあるものの、人的な面での公的なサポートがありません。かゆいところに手が届く行政の支援が「住みやすさ」につながると考えています。</p>	<p>行政の支援のあり方につきましては、ご意見にありますとおり、子育て団体等と互いに手を取り合い、協力・サポートしていくという視点は重要であると考えますので、そうした視点を持って計画を推進してまいります。</p>
---	---	--